



九条の会

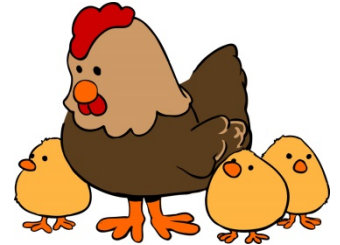
九条の会奈良県ネットワーク運営委員会
発行責任者 佐川愛子
✉ nara9jyonokai@gmail.com
☎ 090-9885-9756
2017年1月20日発行
3号

明けましておめでとうございます

憲法九条を守る活動をすすめましょう。

ニュースへの記事は nara9jyonokai@gmail.com へ

九条の会・奈良ネットワークのブログ開設。 <http://blog.goo.ne.jp/9naranet>



昨年、各地域九条の会で様々な創意工夫された取組や学習講演会が行われました。

三郷； 会員 400 名。全国交流集會に金平さん参加のためのカンパ活動を行い、11月23日に「NHK クローズアップ現代の沖縄問題のビデオ」を見ての学習会と金平さんの全国交流集會の報告を行いました。2週間に1回事務局会議・世話人会、賛同者対象に月1回学習会。ニュースも発行。党派を超えて草の根運動をすすめ、町議会で戦争法廃止の意見書が可決されました。

安保法制反対・撤回の意見書、 請願書 が三郷、香芝で採択

三郷、香芝では、一昨年、安保法制の採決前に反対の請願書をあげる取り組みが行われました。三郷は、非核都市宣言であり、9条独自の請願書を作成。全ての町会議員と対話し説明しようと連絡を。保守系議員も応じてくれて、共産党、無所属議員7名が賛成し可決され採択されました。安保法制が採決された後、撤回を求める意見書も三郷町議会で採択されました。香芝では、議員16名に9条の会として、結びつきをつよめ、説明し、お願いにいった結果、採択されました。

香芝； 香芝9条の会と共同センターが共同ですすめていた香芝市の玄関口、JR香芝駅東側の大看板が12月20日完成。21日世話人が集まり完成をお祝いしました。



白樺9条の会は11月12～13日、橿原ニュータウン連合自治会主催の文化祭に写真パネルと書籍を出展しました。「戦時中の学校・子どもたち」をテーマにして、学童疎開の写真と全国および奈良市の学童疎開の受け入れ状況をパネル展示をおこないました。来場者は580人でした。橿原市教育長が熱心にパネルを観ました。また、パネルの前で、住民皆さんとの話が弾みました。やはり、ご年配の方が熱心に見られ、若い方々はさっと通過されました。若い方に戦争の実態を知って頂く難しさを実感しました。来年はもっと工夫し、多くの住民の皆さんにご覧いただくように準備したいと思えます。

生駒九条の会「南京事件映画と講演会」会場満席に、大きな感動！

生駒セイセイビルで12月18日、新作の南京事件ドキュメンタリー映画「太平門 消えた1300人」が上映され、あと松岡監督の講演を聞きました。約270名が参加、会場は満席でした。元小学校教師だった松岡さんは、1988年に初めて中国の南京を訪問、日中戦争時の日本軍の暴行虐殺事件（1937年12月）について、被害者本人しか語れない具体的な状況を聞き、それ以来この歴史的事実や被害者の痛みを知ろうと、今日まで約80回にわたって南京を訪問、南京で聞き取り調査をした中国人は延べ300人以上にのぼります。同時に日本国内では、南京事件に日本軍兵士として参加した元兵士を捜し出し、250人以上から取材、南京における日本軍加害の具体的真実を聞き出しました。松岡さんは、これら被害と加害の両方の体験者の証言の数々を今回の映画にまとめています。講演では、このような取り組み、経過を話されました。（主催は、奈良県と生駒市の、平和委員会、新婦人、革新懇、九条の会、歴教協、子どもと教科書ネット、など11団体で構成する実行委員会。後援は奈良新聞社、朝日新聞奈良総局、毎日新聞奈良支局）

参加者の感想



「生々しい戦争の事実を、体験者が語る映画を観たのは初めてです。耳を塞ぎたくなるような話し、胸が苦しくなる」「映画は見ている間、息がつまるほど苦しいものでした。それほど悲惨な事実でした」「すばらしい企画です。非常に意義ある集いです。松岡氏の信念と行動には深く敬意を表します。今日のフィルムも問題を正面から見つめようとする、優れた構成、セレクトされ、凝縮された映像です」

松岡さんは、調査結果をまとめた証言集、資料研究を出版、また南京事件に関する集会やシンポジウムを日本で数多く開催、さらに南京民間抗日戦争博物館の協力を得て、事件被害者を尋ねて交流する「心のケア」活動も展開しています。これらの活動は、「南京事件はウソ、でっち上げ」とか「あの戦争はアジア解放の正義の戦争だった」と主張する靖国神社、神道政治連盟、日本会議など、日本の右翼勢力に対する断固たる回答となっています。国連ユネスコは、2015年10月「南京大虐殺の記録」を世界記憶遺産に登録しましたが、安倍首相は「遺憾」を表明し、菅官房長官はユネスコへの拠出金停止や減額を検討するなどと言い出し、安倍政権は反発しているのです。

「あまりにも重い事実を突き付けられた、という思いです。戦争というものはかくも無残で、野蛮なことなのだ、改めて思い知らされました。一部の人たちは事実から目をそむけ、逆に事実を見つめる者を“自虐史観”などと非難しているが、そういう無反省の人間が権力を握っているのが日本の現実だ」

「南京大虐殺の真実を、大きな衝撃をもって拝見しました。今また教科書を通じて右傾化が進み、大変心配をしております。教科書採択では、教育委員会へ育鵬社、自由社の教科書は採択しないよう申し入れています。近代史をもっと現場の教師も学び、生徒たちも学ぶ、教育関係の方々も頑張ってもらいたい、”あきらめない”ことを熱望します」などの感想が寄せられています。

奈良市民連合第2回総会開催

11月18日午後6時半より県文化会館で行われた総会には110名が参加。市民連合共同代表の浅野詠子さんが挨拶。民進党、共産党、新社会党、社民党の政党代表からの挨拶。市民連合事務局池本さんから、参院選での市民連合の取り組みの経過と課題、衆院選に向けての新しい方針の提案。参院選の結果について野党共闘の前川候補の得票数は、比例区での野党4党得票数に比べ11%上回っており、無党派層の46%、公明支持層の22%が前川野党共闘候補に投票したことにふれ、奈良県における野党共闘の今後の有効性・発展性を再確認したいと述べました。「市民連合として野党統一の取り組みである統一集会が持てたことは評価できる一方、市民が一体感をもって戦える関わり方に課題を残した。市民連合の果たすべき役割と位置づけを見直し、野党統一候補擁立に向けた繋ぎ役的な存在から、選挙自体に積極的なかわりを持つ組織として検討することも必要」と総括し、「野党共闘が新たな政治の枠組みとしてスタートし、安倍政権との対立軸を鮮明にし、争点を浮き彫りにした形で市民に見える政治を作り出す必要があり、市民連合としての日常の活動と政党との意思疎通が重要」と締めくくりました。その後、前川きよしげ弁護士が「安倍政権と憲法改悪」と題して記念講演を行ない、「立憲主義を守るのかどうか」が問われており、決して諦めてはならない」と述べました。



署名街宣に工夫をしています

三郷では、2000万署名は600筆集める。近所の方にお願ひしたり、9日と19日に王寺駅前街宣、署名活動を行う。参議院選挙前、高校生に棄権しないように「選挙にいこう」というパンフレットを300枚配る。生駒では、「やれる事をやろうじゃないか」と主催者として情熱をもってやる。9月19日、37名結集。シュプレヒコール、A3のプラカードを一人一枚持って雰囲気を作って訴える。一目で分かるように演出。横断幕「憲法改悪は戦争への一里塚」を作成、掲げている。テントの布で作成代2万円。19日は南スーダンからの撤退の署名。6日、9日は核廃絶国際署名。「熱意を持って呼びかける。根気良く追求する」ことが大事。広陵では、19日の宣伝の日、ポケットティッシュに憲法9条をつけたり、子連れ夫婦には風船つけてしおりをセットにして渡している。

11月19日の夕刻、広陵九条の会は定例の「19の日宣伝」を商業施設エコール・マミの通路にて行いました。



この日、11名が参加。「アベ改憲を許さず、憲法9条を守ろう」「南スーダン派兵NO」とハンドマイクでの訴えとビラ配布、「南スーダンからの撤退を求める」署名活動を行いました。南スーダン派兵自衛隊への「駆け付け警護」と「宿営地共同防護」の任務が付与された直後で、「自衛隊の派遣は反対。行くなれば決めた大臣や国会議員が行けばよい」「一旦駆け付け警護を使い始めたらどんどんエスカレートしていくから怖い」などの不安の声や、「戦争は絶対にしたらあかん、あんな目に二度とさせてはいけない」と高齢の女性と18歳のお孫さんが一緒に署名に応じてくれるなど、約40分間の短い間の行動でしたが署名20筆が集まり、チラシを140枚配布しました。

沖縄の写真展、映画、講演会のご案内 富雄・とみなん・小さい9条の会主催

見たい聞きたいしゃべりたい
沖縄のごと
1/28 ~ 1/30 (土) (日)
あやめ池にて 参加費 300円

写真展 沖縄の美しい自然

お話しとワークショップ
大塚大学准教授 今岡良子さん
一燈の人生、そのつゆがり
1/29 13:00-16:00
◎ 富雄 & 沖繩
(後者への招待で)

1日の学びの場 高江
毎日 11:00-12:00 監督: 藤原元雄
講師: 藤原元雄
高江一燈が泣いていて
1/28, 1/30 脚本: 中村、藤原元雄
Part 1: 13:30-14:30
Part 2: 14:30-15:30

富雄九条の会・とみなん九条の会・西大寺九条の会・小さい九条の会
☎ 099-1442-1327 (木村)

広陵九条の会が伊藤千尋さんの講演会を開催

2016年11月13日に広陵町グリーンパレスで行われ120名が参加しました。

「市民連合」共同代表浅野詠子さん、「沖縄の辺野古・高江と繋がる奈良の会」竹田歌之助さんの挨拶、「繋ぎ結ぶママ達の会」坪本加奈恵さんのメッセージの後、「今こそ9条が生きてくる一世界が求める真の積極的平和」と題し講演が行われました。

憲法九条は世界のすべての人々のものとして、アフリカ沖のスペイン領カナリア諸島やトルコ、沖縄の読谷村の「日本国憲法9条の記念碑」を紹介。「軍隊を廃止。力に対して武力は通じない、話し合いすれば必ず解決する。対話が大事で最も素晴らしい防衛手段は武器をもたないこと」と積極的平和主義をかかげるコスタリカを紹介。兵士の数だけ教師を作ろうと平和立国がすすめられており1989年にノーベル平和賞を受賞。憲法を活かす世界の人々を紹介、世界は大きく見ればいい方向に向かっている。日本においても参議院選挙や新潟知事選にふれ「負けたのは自民党」と評価。社会を変える15%の法則を述べ、「ねばならないではなく自ら考え、行動し、武力から対話を」と我々の信念で変えていこうと結ばれました。



お知らせ

平城ニュータウン九条の会が憲法カフェを開きます

日時：2017年1月29日13：30～16：30

場所：右京ふれあい会館

講師：宮尾耕二弁護士



2016年11月13日 伊藤千尋講演会の感想・意見（アンケートから）

* 伊藤千尋さんの講演を聞いてとても感動をいただきました。お会いできて本当によかった。話し方も引き付けられ、平和国家コスタリカへ行ってみたいくなりました。道で出会った女子学生や小学生でも自分の意見を持っている。おかしいと思ったことを一人でも声をあげなければいけないと思いました。日本の仕組みがおかしいとつくづく思います。

* 九条の会の活動のやり方についてヒントが得られた。「ねばならない」を捨てて明るく継続していきたい。

* 新聞でタイトルとか人の名前を読んでも今日のお話で深く理解できた。外国での特派員としての生活から国民性を身体で経験し感動がつながってきました。運動は一人の信念から始められると楽しくなりました。日頃の小さい出来事にくよくよした時間が惜しくなりました。明るく、目標を今一度見つめて進むのみの人生をと今は思っています。

登美ヶ丘；11月22日世話人会開催。全国交流集会の報告、文書を作って流している。

宇陀；戦争はあかん宇陀ネットワークができ、月1回集まる。今回はTPPについて行う。

小さい九条の会；沖縄の歴史のパネル展をやりたいと計画

河合；年2回チラシの全戸配布している。

耳成；「古館一郎ワイマール憲法の録画」で学習会。19日に街宣。100枚のチラシを配布。

ピジョン；月1回学習会を実施。10月8日「沖縄に耳を澄ますつどい」講演会に100名近くが参加。（ニュース第2号）

釣り人；「九条は釣り人の宝。平和でこそ釣りができる」というワッペンをつくる。近現代史の学習が出来ていないので学習会やりたい。

斑鳩；公民館の登録団体になっている。掲示板に活動内容を掲示してもらっている。雑誌「憲法運動」の輪読会をやっている。

西大寺；憲法学習を計画している。